

くらし・教育へ47万人

新婦人が署名提出行動

新日本婦人の会(新婦人)は8日、「軍事費2倍化ではなく、税の集め方・使い方の抜本的見直しを求める請願」署名活動の開始を全国で集めた税金、福祉、教育の3署名総数約47万人分の提出行動を衆議院第2議員会館前で行いました。

米山厚生会長は、秋の行動は「1980年から毎年取り組み、今回の署名は、岸田政権の3署名は、岸田政権が敵基地能力保有や軍費の増加などは問題外」「戦争につながることは絶対反対。黙っているわけにいかない」と署名が広がったと報告。「大軍拡NO!暮らし・平和こそ」のタペストリーを作成・活用も全国で始まるとして、レッドア



全国で集めた署名目標を、国会議員に手渡す米山会長(左から2人目)ら8日、衆議院第2議員会館前

村岡昭衆院議員が参加し、署名目標を受け取りました。「47万もの署名は励みになります。大軍拡はNO。学校給食の無償化はじめ教育や暮らし、社会保障の充実を。みなさんの要求実現に向け、一緒にがんばります」(倉林氏)など各議員が連帯の一言あいさつをしました。

クシヨシなや女性の共同を広げて、引き続き声をあげたいと語りま

行動には、日本共産党の倉林明子副委員長、

長、紙智子、井上哲子、仁戸聡平、山添拓、伊藤岳の各参院議員と田